

使用上の注意

【推奨環境】

本書上に書かれている URL はすべてクリックできます。

万が一できない場合は最新の AdobeReader を下記よりダウンロードしてください。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

本書は著作権法で保護されている著作物です。

本書の使用に際しましては、下記の点にご注意戴きご利用下さい。

本書の著作権は大島和也に属します。（以下「著作権者」という）

本書の開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

本書は秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

本書に書かれた情報は、作成時点での著作権者の見解等です。著作権者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

【特別公開に関する規約】

本書は著者である大島和也が、小早川匠氏に特別に公開配布を許可したものである。そのため、著作権に関しては放棄しないが、小早川匠氏の Web サイト、ブログ、メールマガジンに限定して使用权を譲渡するものとする。

馬券購入に当たる注意事項

既存の大島の馬券術とレースが重複した場合は既存の馬券術を優先して馬券を購入してください。ご存じない方はそのままご購入いただいて結構です。

また、レース回顧や集計は、既存の馬券術を用いない、この配信のままの予想結果にて行います。

当日馬体重の増減が14kg以上ある馬絡みの馬券は全て買わないようにしてください。

当日オッズが1倍台になった場合はその馬絡みの馬券は全て買わないようにしてください。

落馬などで急遽騎手が乗り代わりになった場合でもそのまま購入をしてください。

わかりやすいように1口100円を想定しています。ご自身の口数に合わせての比率で投資の振り分けをお願いいたします。

5月9日

●東京 11R

単勝 3番 5000円

複勝 3番 5000円

●新潟 11R

複勝 7番 5000円

馬連BOX 7番 8番 9番 13番 16番 各500

<基本成績>

投資金額合計：20,000円

回収金額合計：0円

回収率：0.0%

<フルパック成績>

投資金額合計：20,000円

回収金額合計：0円

回収率：0.0%

●東京 11R

単勝 3番 5000円

複勝 3番 5000円

鞍上強化で鉄より堅い鉄板レースだと思っていたのですが・・・。直線で伸び悩み、結果として5着と、どうにもこうにも不完全燃焼のレースに終わった印象です。

まず、敗因の分析ですが今日は総じて内が伸びない馬場でしたよね。良馬場に回復してこそいましたが、競馬場の形態を考えるに内側にはどうしても水がたまります。外ほど乾いていなかったというのが実際のところではないでしょうか。

事実このレースに限らず、芝のレースで好走した馬は軒並み外側の枠でしたし、また後方から大外一氣を決めるといったパターンも目立ちました。3着に入った13番などは、まさに今日の勝ちパターンを踏襲するかのようなレース振りでしたが、後一步届きませんでしたね。これは、実力や展開ではなく、純粹に運でしょう。今日はこの馬の日ではなかったということですね。

話は3番に戻りますが、馬場コンディションや展開を考えると、やはりマイラー系が突き抜けた爆発力重視のレースになったとあって、レース選択を誤ったかな・・・といった印象です。京都新聞杯だと勝たなければならなかったということもあり、現実問題として厳しい勝負でしたが、青葉賞に出れば権利が取れたでしょうね。

なお、今回の上位2頭ですが、これはダービーではもう要らないでしょうね。むしろ、下手に好走してしまったことで、今後のローテーションに苦労しそうです。とはいえ勝ち馬の10番はラジオNIKKEI杯3歳Sで狙ってみたい1頭です。おそらく、ダービー惨敗後に出走すると思うので、覚えておいて今回の分をそこで取り返ししましょう。

●新潟11R

複勝 7番 5000円

馬連BOX 7番 8番 9番 13番 16番 各500

7番は距離適正と、底の見ていない未知の魅力に期待したのですが、案外を通り越した惨敗でしたね。まあ、実績を考えれば、もう少しハンデが欲しかったところですよ。もっとも、休養明けゆえに息が入らなかったのでしょう、4コーナーでアラアラだったので、後は馬連に期待を託しての観戦でした。

そして、見事な2着抜け。ハンデ戦の酒井騎手を取りこぼすなんて、何とまあもったいない外し方だったのでしょうか……。内心気になってはいたのですが、今回は斤量も増えていましたからね。酒井騎手といえど、さすがに今回は厳しいのでは？と勝手にあきらめていました。やはりこの男はハンデ戦で舐めてはいけませんね。

それと勝った9番ですが、意外と人気がありませんでしたね。実績馬が軒並みハンデを背負っていたので、この馬が祭り上げられると思っていたのですが、正直意外なオッズでした。後は、いつもより少々後ろから行きましたよね。このあたりは長い直線を見越しての見事な判断だったと思います。

あと、このレースは毎度のことながら顕著な傾向が継続されましたね。それは、“逃げねばれない”というもの。もちろん今回の逃げ馬は、いずれも能力的に劣る馬でしたが、それ以外の実績馬も先行勢で伸び悩んでいましたから、やはりレースとの相性は最悪なのかもしれません。

ちょっとちぐはぐなレースになってしまっていましたね。勝ちタイムの速さも含めて、とにかく予想外尽くしのレースになってしまいました。ホワイトマズルの産駒が2000mを1分56秒台で走るなんて……。いまだに信じられません。

5月10日

●東京5R

馬連BOX 3番 8番 9番 各1000円

※3番1倍台につき見送り

●東京11R

単勝 6番 10000円

3連単 6番 ⇒ 13番 ⇒ ALL 各300

7番 ⇒ 10番 ⇒ 12番 200円

●京都2R

複勝 6番 3000円 ⇒ 的中 11400円

5番 2000円 ⇒ 的中 43000円

●京都10R

複勝 3番 1000円

複勝 14番 1000円

●新潟11R

3連単BOX 6番 7番 8番 13番 14番

<基本成績>

投資金額合計 : 29,000円

回収金額合計 : 54,400円

回収率 : 187.6%

<フルパック成績>

投資金額合計 : 14,000円

回収金額合計 : 54,400円

回収率 : 388.6%

●東京5R

馬連BOX 3番 8番 9番 各1000円

※3番1倍台につき見送り

人気の一角7番が出走取り消しのため、1強ムードになっていました。その結果、投資対象レースから外れてしまったのは非常に残念でしたね。普通の中できていたレースですから。

以前もお話したとおり、この時期の3歳の芝の中距離戦はサンデーサイレンス系の綺麗な戦績の馬を買っていれば間違いありません。今回はそれに対して、重賞実績馬を絡めるという非常にシンプルな組み合わせで的中できたレースなので、ただもらいも同然でしたよね。

ちなみにこのレースは、私の新たな馬券理論を検証するレースだったのですが、単勝1倍台の馬が出現してしまったことで思わぬ形で水を差されてしまった印象です。ただ、狙いどころの確かさは確信できたので、理論としてしっかりと体系立てたものをそう遠くは無いうちにお見せできるかと思います。

それと勝った9番ですが、やはりいい馬ですね。走ります。オークスに間に合えばよかったのですが、ちょっとだけ遅かったですね。秋に期待をしたいところですが、秋華賞で活躍するイメージも湧きませんね。牝馬限定の中距離戦で今後も安定して走るキャラが定着するかもしれませんね。

2着の3番は、大きな出遅れが響きましたね。もっとも、ゴール前では9番に遊ばれてしまったように、あれが無くても2着は2着だと思いますが……。ただ、こちらはキレがありますので、今後伸びてくる可能性があるでしょう。次走も人気は必至ですが、狙ってみていい1頭だと思います。

●東京11R

単勝 6番 10000円

3連単 6番 ⇒ 13番 ⇒ ALL 各300

7番 ⇒ 10番 ⇒ 12番 200円

レース後の感想は「ノリバーガーで取れたなあ」といった印象です。ノリバーガーというのは、

1番 2番 3番 4番 5番・・・

ノリの馬

1番 2番 3番 4番 5番・・・

といった、横山典弘騎手の騎乗馬を2着に固定して、1着と3着を全通り買うという買い方です。2着固定で1着、3着で挟むという買い方なので、ノリバーガーといわれています。

まあ今回は横山典弘騎手が2着に来ることは濃厚だったので、上記のような3連単流しを買っていたのです。今回はじめて法則が破れましたが、毎日杯を勝ってからの直行馬は前戦全勝というデータがありましたからね。あれだけで取れると思い込んでしまいました。

今回、アイアンルックが来なかった理由を求めるならば、他の毎日杯から直行した勝ち馬は、いずれも2歳デビューだったということ。アイアンルックは3歳デビューで、ややレースキャリアが不足していたのではないかというのが敗因として考えられます。

それはさておき、勝った3番ジョーカプチャーノは強かったですね。小倉で1200m戦を勝ち上がったときのタイムが破格だったので、ファルコンSの予想のときはイチオシにしていたのですが、まさかG1馬に駆け上がるとは思っていませんでした。この後はダービーにも出走予定ですので、距離がどうかとは言われていますが、ひょっとしたらひょっとするのでは？といった気がします。

3着の10番は完全に人気の盲点でしたね。夢では2着だったのですが（笑）短距離で改めて期待しましょう。

●京都2R

複勝 6番 3000円 ⇒ 的中 11400円
5番 2000円 ⇒ 的中 43000円

このレースは以前もお話したパターンに合致するケースだったので、皆さんおいしくいただいたことだと思います。

サウスヴィグラス産駒は、なぜか血統的に2流と見られているのか、人気をしない傾向にありますよね。しかし、未勝利～1000万下の平坦コースのダート戦ではかなりのポテンシャルを発揮してくれます。今回に限っては1着・3着と双方揃っての好走とあって、かなりおいしいレースでしたね。

さて、レースを振り返りますが、初出走ながらこの5番ナムラタイタンはモノが違いましたね。この馬はまず間違いなく、100%オープンクラスには上り詰めます。それどころか、おそらく重賞に手が届く器だと思います。もしかしたら、G1さえも勝つかもかもしれませんね。

3コーナーから4コーナーにかけて一気にレースのスピードが上がったときでさえも、この馬にとっては周りの馬の走るスピードが遅すぎて、何度も追突をしそうになっていましたからね。直線に入って外に持ち出してからは、もう追えば追うほど伸びるといった感じで、桁違いの強さを発揮していました。

終わってみれば、初出走ゆえの人気盲点だったのですが、それにしても楽しみな馬が出てきました。次回は間違いなく1番人気、それも1倍台に迫る勢いかもしれませんが、継続して狙ってみてもいいと思います。現状では馬格もあるので、乾いたダートで堅実に勝ち星を重ねていく印象です。

ともあれ、今後もサウスヴィグラスの産駒は、平坦コースのダートの下級条件で狙っていくことを忘れないでくださいね。

●京都10R

複勝	3番	1000円
複勝	14番	1000円

それぞれ乗り替わりで違った一面を見せるのではと期待していました。結果、3番のコンゴウリキシオーは重賞勝ち馬の意地を見せてゴール前までねばり、あわやの場面を作ってくれましたが、14番は完全に空気でしたね・・・。

コンゴウリキシオーの好走要因は、メンバー的にも単騎の逃げが容易だったということでしょう。それでも、ゴール前差されたのは、57kgという2番目に重たいハンデと、直線に入ってから、幾分か後続をひきつけすぎたということ、そして鞍上が地方の名手木村騎手とあって目標にされてしまったことでしょうかね。マイナーな中央の騎手であれば逃げ切らせてもらえたかもしれません。

それにしても、勝ったライブコンサートはオープン特別はさすがに走りますね。重賞挑戦で惨敗し、次のハンデのオープン特別で勝ちをさらうパターンは、この前見たばかりなのですが、再現してくれましたね。（もっとも、今回はそれほどハンデをサービスしてもらえていませんでしたが・・・）おそらくもう1回くらい・・・次はエプソムカップあたりでしょうか、そこを惨敗して、夏のローカル競馬、オープン特別のハンデ戦（函館の巴賞あたり？）で再度狙えると思います。覚えておきましょう。

それと、2、3着に惜敗したサンデーサイレンス産駒2騎ですが、さすがにもう上がり目は無いのかもしれませんがね。いずれも相手なりに走る馬に成り下がってしまった印象です。今後も、3連単などに組み込む際は、2～3着候補で考えるのがベターでしょう。

●新潟 1 1 R

3連単BOX 6番 7番 8番 13番 14番

まず、毎度おなじみの3連単理論に基づき、6番、8番の軸はゆるぎないものでした。くわえて、関西からの遠征馬を狙い打つのは新潟の特別戦のセオリ一なので、とりわけ前走惜しい2着の14番は格好の狙い目でしたよね。

したがって、マルチで行くにも面白い軸馬が3頭も存在したことから、ここは無難にBOXでまとめることにしました。結果として、3着が抜けてしまったこともあり、損失が大きくなってしまいましたね。まあ仕方の無いところですよ。

レースに関しては、6番がローカル職人・中舘騎手らしい手綱さばきに導かれて快勝しましたね。これはもう、力が上だったというより他ないでしょう。14番に関しても、終始外をまわる展開になりましたが、力を出し切れる流れになったのが好走要因でしょうね。

それと、惜しい4着に敗れた7番。この馬は、直線に入るまでに前を裁ききれなかったのが痛恨でした。このあたりは騎手の腕かもしれませんし、また長期休養明けで、馬にレース感が戻っていなかったのかもしれない。今回の内容を見るに、次走では人気を背負うことが考えられますが、2走ボケも考慮して、いったんは様子見をすることをお勧めします。次走惜敗するようであれば、3連単理論を駆使して全力買いというのが最も賢いやり方でしょうね。

それと5着に粘った2番ですが、この馬は連続して好走しないんですよ。そういった意味では、微妙な着順の今回は評価が分かれるところだと思います。したがって、やはりこの馬も1～2走様子を見るに越したことが無いのではないのでしょうか。

今週の総括

2つ新理論を試しましたが、方や水を差され、方や不発と残念な結果に終わりました。しかし、既存の理論での展開ではキッチリと大穴を仕留めることが出来たので、数字としては非常に満足できる内容に仕上がったのではないかと思います。

<基本成績>

投資金額合計：49,000円

回収金額合計：54,400円

回収率：111.1%

<フルパック成績>

投資金額合計：34,000円

回収金額合計：54,400円

回収率：160.0%

惜しむらくはNHKマイルカップでしたね。ここでノリバーガーでキッチリと200万馬券を取って欲しかったです。なかなかタイミングが合わないものですね。次回に期待しましょう。

◆反省点

レースの絞込みが若干荒かった印象です。もちろん、少しでも多くの予想を配信したいというのが本音ですが（より多くの予想理論を学んでいただきたいため）勝てなければ下も子もありませんからね。今週に関しては、そのジレンマが中途半端に形となって現れた印象です。

とりわけ、苦手とするG1で性懲りも無くムチャな勝負をしてしまったのは反省すべき点の最たるものだと考えております。やはり、得意分野の平場のレースで手堅く単勝・複勝で利益を積み重ねるといふ、本来のスタイルを徹底していこうと、決意を新たにしました。

また、新理論を今回披露したわけですが、馬連の方はまだしも、3連単のほうはちょっと間抜けな感じになってしまいましたね。こちらは仕切り直しが必要だと思っています。

一応、来週からは馬連の新理論を完成に向けてブラッシュアップしていくことを目標にしようと思います。

◆今後の展望

今週は残念な結果に終わりましたが、今後も狙える馬は以下の馬のです。

メイウインド（10日 東京5R 2着）

スタート直後に大きく出遅れて3馬身の不利。そこから追い上げるもゴール前では足が上がりすぎて2着惜敗しましたが、次走も引き続き期待が持てるでしょう。ただ、現状では出遅れの挽回が可能な東京コース限定馬でしょうね。デビュー戦も今回ほどではありませんがスタートが悪く辛勝でしたからね。春の府中でもう1回見てみたい馬です。

ヒカルマイステージ（9日 東京11R 3着）

惜しくもダービーの出走権確保には至りませんでした。それがかえっていい方向に作用するのではないのでしょうか。もちろん、夏場に力をつけて菊で・・・というタイプではないでしょうが。次走それなりに人気を集めるでしょうが、手堅い軸馬として覚えておきましょう。

スーサンライダー（9日 京都9R 2着）

今回はゴール直前まで逃げ粘りあわやの場面を作りました。やはり、直線に坂の無いコースのダートは走りますね。この馬は買いどころが簡単な馬なので、好走パターンを覚えておいて次回も狙いたいところですね。同じく京都開催、夏の小倉あたりでも目が離せない存在だと思います。

今週は以上となります。毎度毎度の繰り返しですが、ここで注目をした馬は、近走で結果を出す傾向にあるので、よく覚えておいてくださいね。

あと、勝ち馬ではナムラタイタン。この馬は良く覚えておいてください。必ず重賞戦線をにぎわすような馬に成長します。早ければ秋にも重賞戦線で見られるのではないのでしょうか。ユニコーンSに間に合ったとしたら・・・かなり面白い存在だと思います。

◆次週の展望

なんと言っても17日東京9Rテレビ埼玉杯に出走予定のエクスタンスでしょう。ようやく芝を順調に使えるようになり安定感を増しましたね。武豊騎手の続投も考えられますので、人気でも安定感から軸に考えたいところだと思います。ただ、本質的にはマイラーだと思いますので、今週に引き続いての先行馬が残るような高速決着を望みたいところでしょうね。

後は、ヴィクトリアマイルのザレマですね。今週のNHKマイル、その前の天皇賞と、最近は上位陣の実力差は昔ほど大きくないのかなあと思った印象があります。そういった意味では、常に堅実にちゃ区を重ねてきているこの馬ほど、安定株として期待できる馬はいないのではないのでしょうか。

それと、同じくヴィクトリアマイルに出走する、ひっそりと引退撤回をしていたジョリーダンス。引き際の悪さゆえに、反感を持っている人も多いようですが、お情けのハンデ戦を逃げ切ったあの馬とは異なり、別定戦のG2を勝ちきっての参戦だけに、軽視しない方が良いでしょう。何しろ、断然人気が予想されるウオッカも個人的には衰えが見られている気がしますからね。ひょっとしたら一発もあると思います。

一応、リトルアマポーラも警戒しておきましょう。前走は7着と数字だけ見れば大惨敗ですが、タイム差は0.4秒と小差ですからね。歴戦のマイラーの中に混じって、本質的に中距離馬のこの馬があそこまで走ったのですから、地力強化は疑いようがありません。そもそも、今回の出走予定馬で、マイラーズカップに出走した場合、この馬より上に来たと断言できる馬はいませんかからね。

以上、こんなところでしょうか。もっとも、G1下手の私が言うことですから、参考程度にとどめて置いていただいた方が良いでしょうね（笑）

大島和也